

## 第6学年外国語活動学習指導案

日 時：平成22年10月21日（木）5校時

児 童：6年合同 男子26名，女子24名 計50名

指導者：佐藤 郁子（1組担任）

金濱 圭子（2組担任）

場 所：イーハトーブ教室

### 1 単元名 Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう（「英語ノート2」 文部科学省）

#### 2 単元について

○ 本単元は、自分が行きたい国について理由をつけてスピーチすることをゴールとしている。初めに、英語はイギリスやアメリカ以外の国でも話され、世界中には様々な英語があることを知り、伝え合おうという意識を持つことが大切であることを理解させる。正しいとか正しくないとかにとらわれ過ぎず思い切り英語で話してみようという意欲を育て、英語を使うことで世界とつながることができるという感覚を身に付けさせたい。

また、本単元は総合的な学習の時間の「世界に目を向けて」と関連して構成している。自分の行きたい国とその理由を考えることで、総合的な学習の時間に学んだことをさらに深め、自分たちも世界の中で生きているということを実感させるという点でも適している。

○ 本学年の児童は、外国語活動を楽しんで行っている。同時に、みんなの前で自分のことを表現することが苦手であったり、正しく言えない事を恥ずかしいと思ったりする傾向もある。また、苦手なことをあきらめてしまい、粘り強く取り組むことができない児童もみられる。

そこで、ゲームやチャンツなど、みんなで楽しみながら聞いたり話したりする活動を多く取り入れ、それを繰り返すことで、自信を持って表現しようとする意識を高めていきたい。

○ 指導においては、最後の時間に安心してスピーチできるようにするために、話す活動を多く取り入れたり、練習の時間を確保したりする。より多くの友達と練習し合うことを通して、どうすれば自分の考えを相手に的確に伝えられるかを考えさせたい。

また、使う単語を精選したり、理由の中で英語表現が難しい部分は日本語も混ぜて話したりするなど、児童が安心して英語で話せる環境を整えたい。

#### 3 単元の目標

- (1) 世界にはいろいろな英語が話されていることに興味を持つ。
- (2) 自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりしようとする。
- (3) 理由を含めて、自分が行ってみたい国を発表する。

#### 4 評価のポイント

- ・自分が行きたい国についてスピーチしようとする。

5 単元構成表

時	本時の目標	本時の活動	活動の種類 ◎主 ○副		
			聞く	言い慣れる	発話する
1	様々な英語があることを知る。  (ALT+担任)	【Let's Listen 1】 4人の自己紹介からわかったことを聞こう。	◎		
		【Let's Listen 2】 どの国旗がどの国かあてよう。	◎		
		【Let's Chant】(1回目) ♪I want to go to Italy. ♪	◎	○	
2	行きたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて,その概要を理解する。  (1組担任 2組担任)	【Let's Chant】(2回目) ♪I want to go to Italy. ♪	○	◎	
		【Let's Listen 1】 CDを聞いてカードを順に並べよう。	◎		
		【Let's Play】 ビンゴ・ゲーム	◎	○	
		【Let's Listen 2】 CDを聞き,子どもたちが行きたい国と理由とを線で結ぼう。	◎		
3  (本時)	行きたい国とその理由を,伝えたり聞いたりする。  (1組担任 2組担任)	【Let's Chant】(3回目) ♪I want to go to Italy. ♪		◎	
		【Let's Listen】 CDを聞いて,わかったことを書こう。	◎		
		【Activity 1】(練習) 自分が行ってみたい国とその理由を,紹介する練習をしよう。	○	◎	○
4	行きたい国をその理由とともに発表したり,相手の行きたい国やその理由を理解したりする。 (担任)	【Let's Chant】(4回目) ♪I want to go to Italy. ♪		◎	
		【Activity 1】 自分が行ってみたい国について,国旗とその理由を書いて紹介しよう。			◎
		【Activity 2】 友達のスピーチを聞いて,行きたい国を知ろう。	◎		

6 本時の指導

(1) 目標

行きたい国とその理由を,伝えたり聞いたりする。

(2) 仮説にかかわる具体的な手立て

①仮説1 (教材を効果的に活用すること)にかかわって

ア 自分の話したいことを明らかにするために,スピーチボードを使用させる。

イ チャンツでは,国名やその内容を変えながら,リズムに乗って楽しく言えるようにする。

②仮説2 (評価を効果的に行うこと)にかかわって

ア スピーチ練習では,進んで行きたい国やその理由を伝えようとしているか,行動観察を行う。

(教師の評価)

イ 「ふりかえりカード」を使い,自己評価を行うことにより,自分のがんばりや友達のよさに気付かせるようにする。(自己評価)

